

「杉並区観光事業に関する基本的な考え方」について

これまで区は、「にぎわいと商機」の創出という目的のもと、様々な取組を実施してきた。今後、観光事業の取組をより効果的・効率的に進めていくため、これまで行ってきた観光事業について、目的や目標、対象者の設定等、各取組を体系化する基本的な考え方を整理する。

1 杉並区観光事業に関する基本的な考え方の位置づけ

産業振興計画で掲げる「にぎわいと商機」の創出に向けた様々な取組について、今後の事業を効率的・効果的に進めるため、これまでの実績を踏まえ観光という視点から体系化。

2 杉並区観光事業に関する基本的な考え方の主なポイント

(1) 「基本的な考え方」の本旨

- ・観光事業を「にぎわいと商機」の創出を達成するための手段（ツール）として位置づけ。
- ・「区民利用を促進する商業振興の側面」と「区外からの誘客を促進する観光の側面」の両面から取り組み、地域内経済活動の循環強化と拡大を図る。
- ・「既存の資源を活かした取組」と「情報発信業務」を基軸に事業展開。また、観光資源の組み合わせによる新たな魅力創出を図る。
- ・東京五輪を見据え、当面はインバウンドに着目した誘引戦略に注力。また、新宿圏等近隣区市宿泊外国人旅行者をターゲットとした事業を展開。

(2) 具体的取組の推進のポイント

- ・地域意識と観光客のニーズの両立が必要。
- ・観光の担い手は、地域が主であり、区は主体的に取り組む地域を側面から支援する。
- ・観光客等に地域の魅力が伝わるのが肝要。先を見据えた戦略的な情報発信を実施する。
- ・観光客等に地域の魅力を感じてもらうために、官民連携を強化した、受入環境整備を支援する。
- ・マーケティング手法を活用した効果検証を多角的に実施する。

3 今後の予定

平成28年度第3回杉並区産業振興審議会で報告の後、各種観光事業の実施や計画策定において、基本的な考え方を反映していく。